全国養護教諭連絡協議会 令和4年度 養護教諭の職務に関する調査

* 必須

トークンを入力してください。*

以下へアクセスして、アンケートにお答えください。

メールアドレス*

所属研究会名を選んでください

研究会名称*

※今年度のことについてお答えください

【基礎データ】

問1 あなたの勤務校(園)の校種について(兼務校は含みません)

- 幼稚園
- 小学校
- 中学校
- 義務教育学校
- 高等学校(全日制)
- 高等学校(定時制・通信制等)
- 中等教育学校
- 特別支援学校

勤務校に2つ以上の課程を併置している場合は、主に関わっている課程をチェックする。

問2 勤務校(園)の令和4年5月1日現在の在籍数について

在籍数を半角数値で入力し、該当がない校種は「0」と入力してください

幼稚園(部) _____
小学校(部)・義務教育学校前期課程 _____
中学校(部)・義務教育学校後期課程・中等教育学校前期課程 _____
高等学校(部)・中等教育学校後期課程 _____

問3 あなたの勤務形態について

その他にチェックをいれた場合は、その内容を記述してください

- 常勤勤務
- 常勤以外の勤務・臨時や非常勤
- その他: _____

本調査での**常勤勤務**とは 都道府県教育委員会・市町村教育委員会・私立学校等の採用に関わらず、正規の勤務(週38時間45分、1日あたり7時間45分)で常時勤務していることとする。

問4 勤務校(園)の養護教諭等の配置状況について

その他にチェックをいれた場合は、その内容を記述してください

- 一人配置 →問5へ
- 複数配置校のため同僚が回答済 →問5へ
- 複数配置 →問4-aへ
- その他: _____ →問5へ

本調査での**複数配置**とは、採用(都道府県教育委員会・市町村教育委員会・私立学校等の採用)や勤務形態(常勤勤務又は常勤以外の勤務)に関わらず、同一の保健室に養護教諭等が**2名以上**配置されていることとする。
(義務教育学校・中等教育学校・中等一貫校・高等学校の校名は同じでも定時制等課程が違う場合は、複数配置校としない。)

「複数配置校のため同僚が回答済」は、学校の実態把握の設問で、複数配置校での回答の重なりを防ぐためにを設定します。
複数配置校の会員は、事前に「複数配置」「複数配置校のため同僚が回答済」の回答者を確認してください。

問4-a 複数配置の配置理由であてはまるものにチェックを入れてください

- 義務標準法の複数配置基準に基づく加配
- その他の加配(文部科学省による心身加配・生徒指導加配、都道府県や市町村負担による独自加配等)
- その他

義務標準法とは、公立学校の「学級規模」と「教職員定数」について規定する法で、養護教諭の複数配置の基準を次のように定めている
文部科学省の定める義務標準法の複数配置基準
小学校851人 中学校801人 高等学校801人 特別支援学校61人

問5 あなたの年齢について(令和4年4月1日現在)

- 20歳代
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳代
- 60歳代

問6 あなたの「養護教諭等」の職についてからの経験年数について

- 10年以下
- 11~20年
- 21~30年
- 31年以上

【1 日常の職務について】

問7 日常の職務において、次のようなことがありましたか

1 養護教諭不在時に、病院搬送する事例があった	☐ あてはまる	☐ あてはまらない
2 子供の来室時に十分な時間をとることができない時があった	☐ あてはまる	☐ あてはまらない
3 行事や学級指導時の来室者への対応ができない時があった	☐ あてはまる	☐ あてはまらない
4 心身に配慮を必要とする子供の健康管理・支援ができない時があった	☐ あてはまる	☐ あてはまらない
5 継続的に支援を必要とする子供に、丁寧な対応ができない時があった	☐ あてはまる	☐ あてはまらない
6 健康診断の準備・実施・事後指導の時間確保が困難であった	☐ あてはまる	☐ あてはまらない
7 保護者や教職員との相談時間の確保が難しかった	☐ あてはまる	☐ あてはまらない
8 個別の保健教育の時間確保が難しかった	☐ あてはまる	☐ あてはまらない
9 学級等、集団への保健教育の時間確保が難しかった	☐ あてはまる	☐ あてはまらない
10 環境衛生活動や安全点検の時間確保が難しかった	☐ あてはまる	☐ あてはまらない
11 研修会・講習会への参加等、自己研鑽のための時間確保が難しかった	☐ あてはまる	☐ あてはまらない

【2 複数配置の効果について】

問8 子供・学校（園）にとって養護教諭の複数配置による効果が特に大きいと思うことを3つ選んでください

- 常時在室できるため、緊急時に迅速に対応できる
- 救急処置において、多面的な判断と処置ができる
- 感染症の予防や発生時の対応を迅速に行うことができる
- 子供の来室時に丁寧な対応ができる
- 心身に配慮を必要とする子供の支援が十分に行える
- 継続的に支援を必要とする子供への対応が余裕をもって行える
- 健康診断の準備・実施・事後指導が余裕をもって行える
- 保護者や教職員との相談時間の確保が容易になる
- 教職員への啓発活動が充実する
- 個別の保健教育の時間確保が容易になる
- 学級等、集団への保健教育の実施が容易になる
- 環境衛生活動や安全点検の取組が充実する

【3 保健教育(集団を対象にした指導)の実施状況について】

問9 あなたは、集団を対象にした保健教育の指導を実施しましたか

(年度内に行う予定があれば、その予定も含めて回答ください TTでの実施も含みます)

- 実施した（予定がある） →問9-aへ
- 実施しなかった（予定がない） →問9-fへ

問9-a あなたが実施した（する）内容の全てにチェックをいれてください

- 歯・口の健康
- 生活習慣
- けがの予防
- 病気の予防
- 心の健康
- 性に関する指導
- 薬物乱用防止教育（飲酒・喫煙含む）
- がん教育
- メディアとの関わり
- 発育・発達
- その他

問9-b あなたは、幼稚園所属ですか

- いいえ →問9-cへ
- はい →問9-dへ

問9-c あなたが集団を対象に実施した指導機会の全てにチェックをいれてください

(年度内に行う予定があれば、その予定も含めて回答ください TTでの実施も含みます)

- 体育科保健領域・保健体育科保健分野・保健体育科科目「保健」
- 他教科・総合的な学習の時間・特別な教科道徳等での指導
- 学級活動・HR活動・児童会(生徒会)活動での指導
- 学校行事に関わる指導
- その他 →問9-dへ

問9-d 養護教諭等が集団を対象にした保健教育の指導を行い、学校(園)・担任・担当にとって特によかった(よい)と思われることを、3つ選んでください

- 養護教諭のもっている専門的知識や技能を盛り込んだ指導ができた(できる)
- 子供の健康実態や生活実態を踏まえた指導ができた(できる)
- 教職員の保健教育への理解や意欲が高まる契機となった(なる)
- 子供についての共通理解が深まったり、広がったりした(する)
- 個別の保健教育と関連づけた指導ができた(できる)
- 学校(園)全体の保健教育に対する関心が高まった(まる)
- その他

問9-e 養護教諭等が集団を対象にした保健教育の指導を行い、子供にとって、特によかった(よい)と思われることを、3つ選んでください

- 健康に対する関心や知識理解が深まった(まる)
- 健康課題をしっかりと捉えることができるようになった(なる)
- 健康生活の実践を積極的に行うようになった(なる)
- 養護教諭が身近な存在となり、相談するようになった(なる)
- その他

→問10へ

問9-f 集団を対象にした保健教育の指導を実施しない理由の全てにチェックをいれてください

- 担任・担当より依頼がないため
- 教諭の指導が充実しているため
- 保健室を不在にすることができないため
- 校内(園内)に理解がないため
- 指導力に不安があるため
- 教材研究や指導準備を行う時間がないため
- その他

【4 ICT活用推進について】

問10 ICTの活用としてあなたが、今後実施したいものは何ですか、したい内容の全てにチェックをいれてください

その他にチェックをいれた場合は、その内容を記述してください

- 保健教育の教材・資料の作成
- 保健に関する各種調査やアンケート
- 子供・保護者との健康相談
- 各種研究会・研修会の参加
- 校(園)内外のWEB会議
- WEBを活用した保健情報の発信(H P、メール等)
- その他: _____

本調査における「ICT活用」とは、「タブレット等の一人一台端末の情報通信技術を活用し、学習活動(保健活動を含む)や研修等を充実させること」とし、保健管理等で使用する校務支援システムの内容は除きます。

問11 現任校(園)で上記のようなICT活用推進に必要なことは何ですか、全てにチェックをいれてください

その他にチェックをいれた場合は、その内容を記述してください

- 養護教諭専用P Cや持ち出し可能なタブレットの整備
- 保健室のネット通信環境(Wi-Fi・有線)の整備
- ICT活用教材の提供
- 各種アプリの開発・提供
- ICT活用のための研修・実践交流
- その他: _____

【5 新型コロナウイルス感染症対策について】

問12 コロナ禍3年目の現在（R4年）、勤務校（園）の子供の健康に関して、次の21項目について、心配や懸念がどの程度ありますか。あてはまるものにチェックをつけてください。

学校（園）生活での感染拡大の危険性	☐ 強くある	☐ ある	☐ ない
子供自らが行う感染予防が定着しない（手洗い）	☐ 強くある	☐ ある	☐ ない
子供自らが行う感染予防が定着しない（身体的距離の確保）	☐ 強くある	☐ ある	☐ ない
子供自らが行う感染予防が定着しない（場に応じたマスク着用）	☐ 強くある	☐ ある	☐ ない
子供の感染症に対する不安の増大	☐ 強くある	☐ ある	☐ ない
登校しぶりや保健室や別室登校の増加	☐ 強くある	☐ ある	☐ ない
不登校の増加	☐ 強くある	☐ ある	☐ ない
保健室来室者や頻回保健室来室者の増加	☐ 強くある	☐ ある	☐ ない
感染症後の後遺症の影響（症状の慢性化、子供の不安増加）	☐ 強くある	☐ ある	☐ ない
ワクチン接種に関わる影響 （副反応の影響、接種判断の不安、子供のワクチン副反応への不安増加）	☐ 強くある	☐ ある	☐ ない
生活習慣の悪化 （睡眠習慣の悪化、食習慣・栄養面の悪化、歯みがき習慣の悪化）	☐ 強くある	☐ ある	☐ ない
ゲームやインターネットの過剰使用の影響 （依存、昼夜逆転、生活リズムの悪化、視力への影響）	☐ 強くある	☐ ある	☐ ない
ゲームやインターネット使用に関わる問題の増加 （ネット上の誹謗中傷、いじめ、犯罪等）	☐ 強くある	☐ ある	☐ ない
感染症に関わるいじめや差別、誹謗中傷の増加	☐ 強くある	☐ ある	☐ ない
家庭環境の不安定さの影響 （虐待の危険性、経済的困窮、保護者の精神的不安定さの増大）	☐ 強くある	☐ ある	☐ ない
肥満傾向の増加	☐ 強くある	☐ ある	☐ ない
やせの増加	☐ 強くある	☐ ある	☐ ない
運動不足による悪影響 （体力低下、発育発達や人間関係づくりへの影響、運動に対する意欲低下）	☐ 強くある	☐ ある	☐ ない
マスク着用の影響 （表情が読み取れない影響、歯や口の衛生に関する意識低下）	☐ 強くある	☐ ある	☐ ない
子供の感染予防のための活動の制限や中止に関わる精神的影響 （不満、イライラ、意欲低下、閉塞感）	☐ 強くある	☐ ある	☐ ない
学校（園）行事の縮小・中止にともなう意欲の低下や経験の機会消失	☐ 強くある	☐ ある	☐ ない

その他、勤務校（園）の子供の健康に関して、「強い心配や懸念がある」ことがありましたらお書きください。

その他： _____

問13 コロナ禍3年目の現在（R4年）、勤務校（園）の新型コロナウイルス感染症対策で、次の22項目について、どの程度困難ですか。あてはまるものにチェックをつけてください

☐ 登校時の健康観察の徹底	☐ とても困難である	☐ 困難である	☐ 困難でない
☐ 休校（園）中の健康状態の把握	☐ とても困難である	☐ 困難である	☐ 困難でない
☐ 登校（園）後の体調不良者への対応・隔離	☐ とても困難である	☐ 困難である	☐ 困難でない
☐ 健康診断実施における感染予防対策・調整	☐ とても困難である	☐ 困難である	☐ 困難でない
☐ 子供への保健教育（手洗い・換気等）	☐ とても困難である	☐ 困難である	☐ 困難でない
☐ 子供への健康相談	☐ とても困難である	☐ 困難である	☐ 困難でない
☐ 子供への心のケア	☐ とても困難である	☐ 困難である	☐ 困難でない
☐ 感染症対策の計画と体制づくりへの参画	☐ とても困難である	☐ 困難である	☐ 困難でない
☐ 校内（園内）施設的环境整備（座席の配置・消毒計画等）	☐ とても困難である	☐ 困難である	☐ 困難でない
☐ 感染症対策に必要な物品に関すること（準備・購入）	☐ とても困難である	☐ 困難である	☐ 困難でない
☐ 保護者への情報提供及び啓発	☐ とても困難である	☐ 困難である	☐ 困難でない
☐ 職員への情報提供及び啓発	☐ とても困難である	☐ 困難である	☐ 困難でない
☐ 校内（園内）職員研修実施への参画・研修実施への参画	☐ とても困難である	☐ 困難である	☐ 困難でない
☐ 学校（園）行事に関する助言	☐ とても困難である	☐ 困難である	☐ 困難でない
☐ 学校医、学校薬剤師等との連携	☐ とても困難である	☐ 困難である	☐ 困難でない
☐ 保健所等の外部機関との連携	☐ とても困難である	☐ 困難である	☐ 困難でない
☐ 感染者発生時の校内（園内）の体制づくり・役割分担	☐ とても困難である	☐ 困難である	☐ 困難でない
☐ 校内（園内）での抗原検査キットの活用・PCR検査の実施	☐ とても困難である	☐ 困難である	☐ 困難でない
☐ 感染者発生時の情報把握・情報発信	☐ とても困難である	☐ 困難である	☐ 困難でない
☐ 感染者発生時の外部機関（保健衛生部局・教育委員会）との連携	☐ とても困難である	☐ 困難である	☐ 困難でない
☐ 子供の感染症治癒後、後遺症の対応	☐ とても困難である	☐ 困難である	☐ 困難でない
☐ ワクチン接種に関する対応	☐ とても困難である	☐ 困難である	☐ 困難でない

その他、勤務校（園）で「とても困難なこと」がありましたらお書きください。

その他： _____

※昨年度(令和3年度)のことについてお答えください

問14 令和3年度の勤務(兼務校は含みません)について

- 現任教(園)に勤務していた
- R3年度末人事異動で勤務校が変わった →問31へ
- 学校(園)に勤務していなかった (R4年度初任者・行政勤務、大学等の在籍、産前後休暇、育児休暇、傷病休暇等) →問31へ

問15 令和3年度の勤務校(園)の養護教諭の配置状況について
その他にチェックをいれた場合は、その内容を記述してください

- 一人配置
- 複数配置
- その他: _____

本調査での**複数配置**とは、採用(都道府県教育委員会・市町村教育委員会・私立学校等の採用)や勤務形態(常勤勤務又は常勤以外の勤務)に関わらず、同一の保健室に養護教諭等が**2名以上**配置されていることとする。
(義務教育学校・中等教育学校・中等一貫校・高等学校の校名は同じでも定時制等課程が違う場合は、複数配置校としない。)

【6 子供からの相談について】(昨年度のことについてお答えください)

問16 あなたは、子供から相談を受けたことがありましたか。

- あった →問16-aへ
- なかった →問17へ

問16-a 子供から相談を受けた、内容の全てにチェックをいれてください

- 生活習慣
- 不定愁訴
- 人間関係に関する事
- 登校しぶり・保健室登校・相談室登校等
- いじめ
- 自傷行為・自虐行為
- 命と自殺防止に関する事
- メンタルヘルス(神経症傾向、抑うつ傾向、統合失調症等精神疾患等)
- 急性ストレス障害・PTSD
- 過換気症候群
- 起立性調節障害(OD)
- 摂食障害
- 性に関する問題
- 発達に関する事
- 身体の健康に関する事(アレルギーを含む)
- 喫煙・飲酒・薬物乱用に関する事
- 虐待に関する事
- インターネット等メディアに関する事
- 家庭又は家族に関する事
- 担任等、教職員との関係に関する事
- その他

【7 保護者からの相談について】(昨年度のことについてお答えください)

問17 あなたは、保護者から相談を受けたことがありましたか

- あった →問17-aへ
- なかった →問18へ

問17-a 保護者から相談を受けた、内容の全てにチェックをいれてください

- 子供の心身の健康に関する事
- 子供の発達に関する事
- 子供の登校しぶり・不登校・保健室登校・相談室等の別室登校に関する事
- 子供と担任等、教職員との関係に関する事
- 子供と友人・部活動や学校(園)生活に関する事
- 子供の進路に関する事
- 子供と家族との関係に関する事
- 保護者自身に関する事
- その他

【8 教職員からの相談について】(昨年度のことについてお答えください)

問18 あなたは、教職員から相談を受けたことがありましたか

- あった →問18-aへ
- なかった →問19へ

問18-a 教職員から相談を受けた、内容の全てにチェックをいれてください

- 子供の心身の健康に関する事
- 子供の発達に関する事
- 子供の登校しぶり・不登校・保健室登校・相談室等の別室登校に関する事
- 子供の保護者への対応について
- 保健教育に関する資料・教材について
- 教職員自身、職場・家族等に関する事
- その他

【9 保健室登校、相談室等の別室登校について】（昨年度のことについてお答えください）

問19 昨年度の勤務は、幼稚園ですか

- はい →問22へ
- いいえ →問20へ

問20 昨年度、勤務校には養護教諭が関わった保健室登校、相談室等の別室登校の事例がありましたか

本調査での「保健室登校、相談室等の別室登校」とは、期間の長短を問わず、常時保健室（相談室等の別室）にいるか、特定の授業に出席できても、学校にいる間は主として保健室（相談室等の別室）にいる状態とする。

- 複数配置校のため、同僚が回答済 →問21へ
- あった →問20-aへ
- なかった →問22へ

問20-a 昨年度の養護教諭が関わった保健室登校、相談室等の別室登校の子供の実人数を半角英数で入力ください

問20-b 昨年度、養護教諭が関わった保健室登校、相談室等の別室登校の事例の中で、関わった最長の期間はおおよそどのくらいですか

- 約1週間以内
- 約1か月以内
- 約3か月以内
- 約6か月以内
- 約1年間

問21 昨年度、あなたは保健室登校、相談室等の別室登校の子供に関わったことがありましたか

- あった →問21-aへ
- なかった →問22

問21-a 昨年度、あなたが関わった内容の全てにチェックをいれてください

- 子供への健康相談
- 子供への保健教育
- 子供への学習支援
- 保護者への対応
- 学級や部活動等の子供との連絡・調整
- 学級担任や部活動顧問等の教職員との連絡・調整・相談
- 校内(園内)支援体制づくり
- スクールカウンセラーとの連携
- 関係機関との連携
- 保健室・相談室等の環境整備
- その他

【10 「虐待」について】（昨年度のことについてお答えください）

問22 昨年度、勤務校(園)には養護教諭が関わった虐待(疑いを含む)の事例がありましたか

- 複数配置校のため、同僚が回答済 →問23へ
- あった →問22-aへ
- なかった →問24へ

問22-a 昨年度、養護教諭が関わった虐待(疑いを含む)の事例の内容の全てにチェックをいれてください

- 身体的虐待
- ネグレクト(怠慢または拒否)
- 心理的虐待
- 性的虐待

問23 昨年度、あなたは虐待(疑いも含む)に関係する子供に関わったことがありましたか

- あった →問23-aへ
- なかった →問24

問23-a 昨年度、あなたがそれらの虐待(疑いも含む)に対し、関わったきっかけの全てにチェックをいれてください

- 身体計測・健康診断
- 救急処置
- 頻回来室
- 来室時の問診
- 身体や行動の観察
- 健康相談
- 教職員からの相談
- アンケート調査等の学校(園)の取組
- 本人の訴え
- 他の子供からの相談
- 地域・児童相談所等からの連絡
- その他

問23-b 昨年度、あなたがそれらの虐待(疑いも含む)に対し、関わった内容の全てにチェックをいれてください

- 虐待を受けた子供からの情報収集を行った
- 虐待を受けた子供の心のケアを行った
- 虐待を受けた子供の経過観察を行った
- 虐待の情報提供を行った
- 校内(園内)体制づくりに関与した
- 関係機関との連絡・調整にあたった
- 教職員からの相談を受けた
- 保護者からの相談や情報の聞き取りがあった
- その他

【11 「いじめ」について】 (昨年度のことについてお答えください)

問24 昨年度、勤務校(園)には養護教諭が関わったいじめ(疑いを含む)の事例がありましたか

- 複数配置校のため、同僚が回答済 →問25へ
- あった →問24-aへ
- なかった →問26へ

問24-a 昨年度、養護教諭が関わったいじめ(疑いを含む)の事例の内容の全てにチェックをいれてください

- ひやかしやかからかい、悪口や脅かし文句、嫌なことを言われる
- 仲間はずれ、集団による無視
- 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする
- ひどくぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする
- 金品をたかられる
- 金品をかくされたり、盗まれたり壊されたり捨てられたりする
- 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする
- SNS等で誹謗中傷や嫌なことをされる
- その他

問25 昨年度、あなたはいじめ(疑いを含む)に関係する児童生徒に関わったことがありましたか

- あった →問25-aへ
- なかった →問26へ

問25-a 昨年度、あなたがそれらのいじめ(疑いを含む)に関わったきっかけの全てにチェックをいれてください

- 身体計測・健康診断
- 救急処置
- 頻回来室
- 来室時の問診
- 身体や行動の観察
- 健康相談
- 教職員からの相談
- スクールカウンセラー等の相談員からの情報
- アンケート調査等の学校(園)の取組
- 本人の訴え
- 他の子供からの相談
- 保護者・地域等からの連絡
- その他

問25-b 昨年度、あなたがそれらのいじめ(疑いも含む)に対し、関わった内容の全てにチェックをいれてください

- いじめを受けた子供に関わった
- いじめをした子供に関わった
- 当事者以外の子供に関わった
- 保護者への対応
- 教職員と相談した
- 校内(園内)体制づくりに関与した
- いじめ防止教育に関わった
- その他

【12 特別支援教育について】 (昨年度のことについてお答えください)

問26 昨年度の勤務は、特別支援学校ですか

- はい →問29へ
- いいえ →問27へ

問27 昨年度、勤務校(園)には特別支援学級への在籍の有無にかかわらず、医師や専門家の診断(疑いを含む)や校内(園内)の実態把握によって特別な支援を必要とした子供はいましたか

- 複数配置校のため、同僚が回答済 →問28へ
- いた →問28へ
- いなかった →問29へ

問28 昨年度、あなたは特別支援学級への在籍の有無にかかわらず、医師や専門家の診断(疑いを含む)や校内(園内)の実態把握によって特別な支援を必要とした子供に関わったことがありましたか

- あった →問28-aへ
- なかった →問29へ

問28-a 昨年度、あなたがそれらの子供に対し、関わった内容の全てにチェックをつけてください

- 特別支援コーディネーターとして
- 校内(園内)の支援チームの一員として(医療的ケアのサポート等も含む)
- 早期発見と情報の提供
- 日常の観察と記録
- 問題行動(パニック等)を起こした時の対応
- 担任や教職員からの相談への対応
- 保護者からの相談への対応
- 他の子供への対応
- 関係機関との連絡・調整
- その他

【13 食物アレルギーに対する取組について】(昨年度のことについてお答えください)

問29 昨年度、あなたは食物アレルギーのある子供に関わったことがありましたか

- あった →問29-aへ
- なかった →問30へ

問29-a 昨年度、食物アレルギーのある子供に対して関わった内容の全てにチェックをいれてください

- アレルギーの把握・管理・共通理解(保健調査・学校生活管理指導表等)
- アドレナリン自己注射薬や内服薬等の管理
- アレルギーに関する研修会の企画・運営
- 校内(園内)体制(緊急時の体制)づくり、整備、周知等に関与
- 保護者との面談
- 学校医等、主治医、関係機関(医療機関、給食センター、消防署等)との連携
- 他の子供や保護者への対応
- 学校(園)給食・宿泊行事に伴う食事管理
- その他

問30 昨年度、勤務校(園)にはアドレナリン自己注射薬を処方されている子供はいましたか

- 複数配置校のため、同僚が回答済
- いた
- いなかった

【備考】

問31 調査回答に補足等がありましたら、以下に記述してください

備考 _____

これで全てのアンケートは終了です。
ご協力ありがとうございました。

最後に「送信」ボタンを押して、回答内容を送信してください。